せきしん

第12号 2026
社会医療法人社団　尚篤会
赤心堂グループ

［赤心 ―まごころ―］



おかげさまで100周年

赤心堂病院は開院100周年を迎えました

赤心堂グループ

社会医療法人社団 尚篤会
理事長 市川 誠
常務理事 市川 祥子

赤心堂病院
病院長 市川 誠
名誉院長 関谷 繁樹

赤心クリニック
所長 内島 豊

赤心堂総合健診クリニック
所長 五島 雅和

上福岡腎クリニック
所長 市川 祥子



ごあいさつ

社会医療法人社団 尚篤会
赤心堂病院　病院長
理事長　市川 誠

当院は１９１８年（大正７年）の創設以来、１９２６年（大正15年）に川越の地へ移転開院し、おかげさまで100周年の節目を迎えることができました。この1世紀にわたる歩みを温かく支えてくださった地域の皆様、日頃より深く連携いただく医療・介護関係各所の皆様、そしてどのような時も患者さまに寄り添い現場を支え続けてくれた職員に、心より深く感謝申し上げます。

当法人の理念である「赤心（せきしん）」は、中国の古典『後漢書』に由来し、「分け隔てることなく、まごころをもって接する」という意味を持っています。創立以来、私たちはこの言葉を胸に刻み、患者さまお一人おひとりに誠実に向き合いながら、急性期医療を中心に、透析や健診、在宅支援に至るまで地域に根差した医療の提供に力を尽くしてまいりました。

現在、少子高齢化の進展や医療需要の高度化・多様化など、医療を取り巻く環境は大きく変化しております。こうした時代の要請に応え、当院は地域密着型の急性期病院として診療機能と救急体制の更なる強化を推進しております。

近年では、地域医療の要である救急患者さまの迅速な受け入れを強化するため、「救急科」ならびに「ＥＭＴ科（院内救急救命士）」を新たに設置いたしました。また、患者さまへの身体的負担が少ない高度な治療を提供すべく、現在は泌尿器科や消化器外科で「ロボット支援手術」の導入に向けた準備を着実に進めております。さらに、婦人科・整形外科・腎臓内科・循環器内科をはじめとした内科系などの専門診療やがん薬物療法、多職種のチーム医療など、現在ある病院機能を最大限に活かした質の高い医療の追求に努めております。

あわせて、埼玉医科大学総合医療センターをはじめとする高度急性期病院との緊密な連携や、地域の開業医の先生方、介護施設、在宅医療とのネットワーク（患者支援室）をより一層深め、皆様が住み慣れた街で安心して過ごせる切れ目のない医療体制を堅持してまいります。

厳しい経営環境が続く中においても、持続可能で安全・安心な医療サービスを提供し続ける基盤を固め、「赤心」の精神を次世代へとしっかりと継承してまいります。これからも地域の皆様に信頼され、愛される病院であり続けるよう、職員一丸となって全力を尽くしてまいります。今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



一〇〇周年のごあいさつ

社会医療法人社団 尚篤会
常務理事　市川　祥子

今から100年前の１９２６年（大正15年・昭和元年）、赤心堂病院は、祖父柳沢篤義により、開設地である福島県平町（現・いわき市）から埼玉県川越市へ移設されました。当初わずか5床の小さな病院として始まりましたが、地域の発展とともに、少しずつその歩みを広げ、今日に至っています。

その後、昭和の激動の時代を迎え、世界恐慌による経済の混乱をはじめ、日中戦争、そして太平洋戦争へと、社会は大きく揺れ動きました。多くの人々の命や大切なものが失われる中、１９４５年（昭和20年）、終戦を迎えました。当院もまた、こうした幾多の時代の変化を乗り越え、地域の皆様とともに歩みを重ね、歴史を刻んでまいりました。

そして、時代の変化と地域の医療ニーズに応える中で、赤心堂病院はその役割を少しずつ広げてまいりました。赤心クリニック、上福岡腎クリニック、赤心堂総合健診クリニックを開設し、病気の治療だけでなく、腎疾患の診療や健康診断・予防医療にも取り組みながら、地域の皆様の健康を支える医療を提供してまいりました。それぞれの施設においても、多くの職員が地域の皆様と向き合い、日々の診療や健康づくりを通して、共に歩んでまいりました。

当院の院長は初代から現院長へと受け継がれ、今日まで100年の歩みを重ねてまいりました。それぞれの時代において、歴代の院長をはじめ、すべての職員・役員、そして地域の皆様お一人おひとりに支えていただいたからこそ、今日の赤心堂病院があります。これまでの長い歩みを振り返ると、その歴史の重みと、支えてくださった皆様への深い感謝の念を抱かずにはいられません。

これからも、当院の理念に掲げる「赤心（まごころ）」を胸に刻み、地域の皆様に信頼され、親しみを持っていただける医療施設であり続けたいと願っております。赤心堂病院を中心に、赤心クリニック、上福岡腎クリニック、赤心堂総合健診クリニックとも力を合わせ、それぞれの役割を果たしながら、地域の皆様の健康と安心を支えてまいります。

多くの皆様の力によって築き上げられてきた社会医療法人社団尚篤会赤心堂病院。その100年の歴史を受け継ぎ、全職員が一丸となって歩みを進め、これからも赤心（まごころ）を込めて、一歩一歩、より良い医療を目指して邁進してまいります。



川越一〇〇年のあゆみ　1926－2026

1922年（大正11年）　埼玉県内初となる市制を施行し、川越市誕生
1926年（大正15年）　川越市田町に赤心堂病院移転開設
1929年（昭和4年）　東上線電化
1939年（昭和14年）　田面沢村合併
1940年（昭和16年）　国鉄川越線開通
1943年（昭和18年）　第八十五銀行ほか3行が合併、埼玉銀行創立
1948年（昭和23年）　埼玉県川越商業高校、埼玉県川越市立高等女学校を合併し、
埼玉県川越市立高校となる
1950年（昭和25年）　埼玉県川越市立高等学校、埼玉県川越商業高校と改称
1951年（昭和26年）　川越市政だより（現広報川越）第1号発行
1960年（昭和35年）　川越百万灯提灯まつり始まる
1967年（昭和42年）　川越城本丸御殿が県指定文化財になる
1968年（昭和43年）　川越の山車10台が県指定文化財になる
1974年（昭和49年）　川越市脇田本町に新病院落成、地下１階 地上９階
1976年（昭和51年）　同院に人工透析専門施設として、《付属田町診療所》を開設
1981年（昭和56年）　国道254号バイパス開通（川越・富士見間）
1988年（昭和63年）　上福岡市に《上福岡北口腎クリニック》を開設
1989年（平成元年）　川越市脇田本町に健診専門施設《尚誠クリニック（通称:赤心堂総合健診センター）》を開設
1990年（平成2年）　市立博物館オープン　川越橋開通　第1回小江戸花火大会
「アトレ」オープン　人口30万人突破
1991年（平成3年）　川越ケーブルテレビジョン開局
1992年（平成4年）　一番街の電線類地中化　川越運動公園陸上競技場オープン
1994年（平成6年）　鐘つき通り電線類地中化　川越親水公園オープン
1996年（平成8年）　川越シャトル運行開始　川越市ホームページを開設
1997年（平成9年）　「上江橋」完成（当時河川橋梁では日本最長）
2000年（平成12年）　市民聖苑やすらぎのさと使用開始
2001年（平成13年）　川越市脇田本町に泌尿器科・循環器科外来、人工透析施設として《赤心クリニック》を開設
2002年（平成14年）　川越市立美術館　クラッセ川越　クレアパークオープン
2005年（平成17年）　「川越氷川祭の山車行事」が「重要無形民俗文化財」（国）に指定
2006年（平成18年）　上福岡北口腎クリニックがココネ上福岡クリニックモール2階に移転。
名称変更し『上福岡腎クリニック』となる
2007年（平成19年）　天皇、皇后両陛下とスウェーデン国王、王妃両陛下が川越ご訪問
2008年（平成20年）　東上線と副都心線の相互直通運転開
旧鏡山酒造の明治蔵・大正蔵・昭和蔵が国の登録有形文化財に登録
2009年（平成21年）　川越が舞台のＮＨＫ連続テレビ小説「つばさ」放送
2010年（平成22年）　小江戸蔵里 オープン
川越市マスコットキャラクター「ときも」誕生
2014年（平成26年）　医療法人社団尚篤会は救急医療要件を満たし、《社会医療法人社団尚篤会》となる。
尚誠クリニックは施設名を変更し、《赤心堂総合健診クリニック》となる
2015年（平成27年）　ウェスタ川越オープン
2016年（平成28年）　本川越駅西口開設
川越氷川祭の山車行事が「ユネスコ無形文化遺産」に登録
2017年（平成29年）　新河岸駅自由通路・橋上駅舎完成
2019年（令和元年）　旧山崎家別邸が重要文化財に指定
2021年（令和3年）　東京2020オリンピック、ゴルフ競技が川越で開催される
2022年（令和4年）　市制施行100周年
2026年（令和8年）　赤心堂病院　移転開設100周年

当院では定期的に防災訓練を実施しています。地震や台風などの災害時にも患者さんへ安全な医療を提供できるよう、職員が定期的に訓練を行っています。

年2回の机上訓練を実施しています

災害の状況を想定しながら地震、台風、停電の発生や多数の傷病者の受け入れなど、災害レベルに応じたシナリオを想定し訓練を実施しています。





【重要】災害発生時における院内の運用を切り替えます

当院は災害が発生した際、即座に「災害モード」へと切り替え、迅速に対応いたします。

- **避難場所の確認や確保**
- **警報レベルの把握**
- **災害弱者**(歩行困難な方など)**への配慮と情報伝達**

高 危険度

警戒レベル	取るべき行動	避難情報 市町村が発令	警戒レベル相当情報* 気象庁が発表
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保	レベル5 〇〇特別警報
4	危険な場所から全員避難	避難指示	レベル4 〇〇危険警報
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	レベル3 〇〇警報
2	避難行動の確認		レベル2 〇〇注意報
1	心構えを高める		早期注意情報

患者さん・ご家族へのお願いがあります

災害が発生した際には、以下の点にご協力お願い致します。

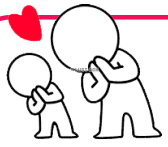
- **職員の案内に従ってください**
- **院内放送をご確認ください**
- **落ち着いて行動しましょう**



不確実な情報にご注意してください



災害時はデマや不確実な情報が流れる可能性があります。
ネット上の情報や噂に惑わされないようご注意ください。



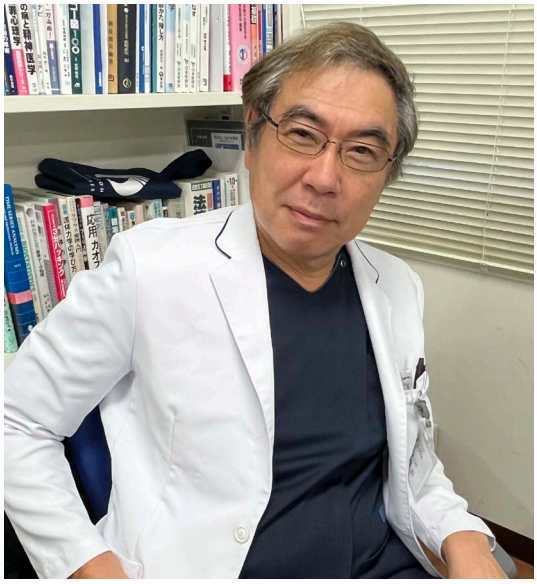
当院はこれからも安心、安全な医療の提供を目指し、防災体制の充実に取り組んでまいります。



災害時も安心して医療を受けていただくために
～当院の災害への取り組み～

防災対策委員会委員長よりご挨拶

芳賀　佳之



日本は自然災害が多い国だと言われていますが、昨今は地震だけでなく風水害、さらには災者の数に比べて病院が提供できる医療が不十分となり、医療をいかに維持・継続していくかが大きな課題となります。赤心堂病院は埼玉県の災害時連携病院に指定されており，災害時に地域医療を確実に支えられるよう防災訓練を定期的に実施しています。災害への対応には平時からの準備が欠かせず，災害時に地域の他の医療機関や消防署、行政機関と緊密な連携をとれるよう体制整備を進めています。こうした活動の中心となるのが防災対策委員会で、病院職員のみならず地域全体に対して防災情報発信を行っていく方針です。

防災対策委員会の紹介

防災対策委員会は、患者さんや職員の安全を守るため災害発生時に迅速かつ適切な対応ができるよう体制づくりを推進しています。委員会では、災害対策マニュアルの定期的な見直しや防災設備の確認、防災意識を高めるための取り組みを行っています。また年2回の防災訓練を実施し、地震や台風などの災害を想定した机上訓練を通じて職員一人ひとりの災害対策の向上と災害時に安全で円滑に行動がとれる体制づくりに努めています。



赤心堂病院 糖尿病教室

参加費無料

日　時	テ　ー　マ
11月21日(土) 14：00～	糖尿病があっても安心！楽しく旅行するコツ ●看護師
	大切な腎臓を守るために知ってほしいこと ●看護師
	食事のポイント ●管理栄養士
2027年 1月16日(土) 14：00～	糖尿病と肥満 ●薬剤師
	糖尿病と運動療法について ●理学療法士

場　所：赤心クリニック4階会議室

※予約無しでの当日参加が可能です

※感染対策のためマスク着用にご協力下さい

問合せ先　☎049-243-9519

参加費無料　予約不要

2026年度 赤心 活き粋 健康講座



11月7日（土）　『むせない』からこそ要注意！忍び寄る誤嚥の正体･･･

時間：14：00～15：00（受付13：30～）

場所：赤心クリニック4階 会議室

医療法人 ユニメディコ リハビリ部 言語聴覚士　加藤 知子先生

※会場は赤心クリニックとなります。
急な中止や変更の可能性があります。
ホームページ等で最新の情報をご確認下さい。

当講座は記録、広報用にビデオ、写真の撮影を行っています。撮影を希望されない方はスタッフまでお声かけください。

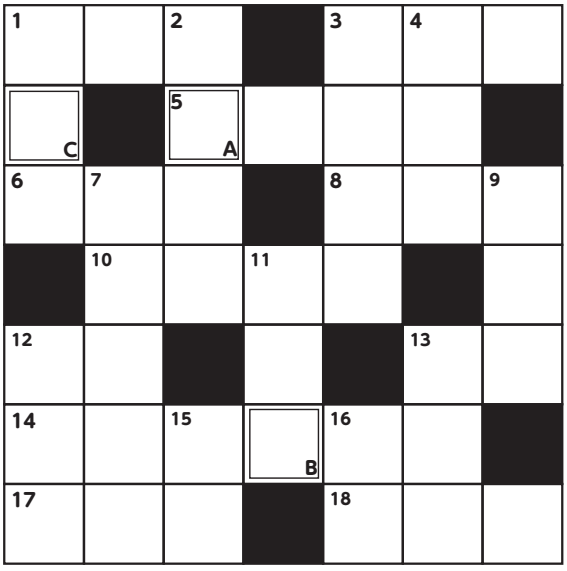
問合せ先　☎049-243-5550

赤心堂総合健診クリニック▶

同時開催！ 5分でわかる ワンポイント栄養講座

毎回少しずつ、あなたに大切な栄養のこと、お伝えします

クロスワードパズル



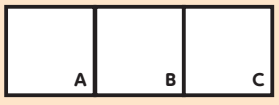
タテのカギ

1　酒の○○○はスルメがいいね
2　○○○○のことを言うと鬼が笑うとか
3　蓄音機や白熱電球を発明したトーマス・○○○○
4　サケやマスの卵を塩漬けにした食品
7　男性の夜会用略式礼服
9　○○○目、○○○舌、○○○貝
11 殿様もいる両生類？
12 古美術品などの鑑定に巧みな人
13 水泳の折り返し
15 ○○の番人と言われる警察や裁判所
16 かつお節や昆布などから取ります

ヨコのカギ

1　日本の国花のひとつ
3　○○○盛衰は世の常
5　漢字で「無花果」と書く果実
6　アブラナの種子
8　友達だと思って声をかけたら他人の○○○だった
10 トランペットやホルンは○○○○楽器
12 こんなの朝○○前だ、すぐできるよ
13 祝いの席などに出される○○の尾頭付き
14 いくつかのカギを○○○○○○にまとめておく
17 天体の運行する道筋
18 ジェントルマン

こたえ



とても頭がよい動物で6歳児と同じぐらいの知能があるとか・・・！

※答えは７ページ

赤心堂総合健診クリニック

赤心堂グループの健康診断専用施設で、人間ドック健診はいかがですか。年に一度の健診は健康とむきあうよい機会です。
多彩な最新検査機器と上質で快適な空間でゆったりとしたひとときをお楽しみ下さい。
ソーシャルディスタンスは保ちつつ、心の距離をぎゅっと近づけるよう、職員一同笑顔でお迎えいたします。





お受けいただける健診

- 人間ドック（健保組合、個人）
- 生活習慣病予防健診（健保組合）
- 特定健診および後期高齢者健診（川越市、他）
- 法定一般定期健診
- 各種がん検診（川越市、他）

皆様の健康に対するご興味にあわせた、さまざまなオプション検査もご用意しております。

胸部CT検査による肺がん検診



64列マルチスライスCT機器で短時間で高精度な肺がん検診を受けられます。

※除細動器・ペースメーカーの埋め込みをされている方は受けられません。

骨粗しょう症検査

骨密度をチェックして骨から健康づくり

超音波による骨密度（骨年齢）検査に加えて、3種類の骨代謝マーカーを血液で調べます。



View39アレルギー検査



代表的なアレルギーの原因物質39項目を血液検査で

花粉症をはじめ、ハウスダストや動物・植物・食べ物に対するアレルギーの有無を血液で調べます。



社会医療法人社団尚篤会

赤心堂総合健診クリニック

〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町21-1

電 話：049-243-5550

ホームページからご予約・お問い合わせができます

https://sekishindo-kenshin.jp/

赤心堂の人間ドック　検索

クロスワードの答え：イルカ

社会医療法人社団 尚篤会

SEKISHINDO

赤心（まごころ）の気持ちで
地域に根ざした医療を提供します

日本医療機能評価機構 認定病院

《 病院理念 》

1　私達は赤心（まごころ）の気持で患者様に接し、常に患者様の立場を尊重することに努めます
2　私達は新（あら）たな医学知識と医療技術を修得し、地域の方々の健康と福祉の増進に努めます
3　私達は患者様の知る権利を尊重し、お互いの信頼に基づいて納得していただける医療の提供に努めます
4　私達は地域において、他の関連機関と連携して効果的な医療の実現に努めます

赤心堂病院　日本医療機能評価機構認定施設・二次救急病院



住所：川越市脇田本町25-19　TEL：049-242-1181

●診療科目

外科・脳神経外科・消化器科・整形外科・小児科
血管外科・婦人科・皮膚科・消化器外科・内科・麻酔科
肛門外科・循環器科・形成外科・乳腺外科・泌尿器科
放射線科・内視鏡外科・呼吸器外科・呼吸器内科
リウマチ科・脳神経内科・リハビリテーション科・救急科
腎臓内科・糖尿病内科・胃腸外科・大腸外科・胆のう外科

当院は多様な働き方実践企業最高ランク
プラチナプラスに認定されています

赤心クリニック





住所：川越市脇田本町25-18
TEL：049-242-8601

●診療科目

循環器科・泌尿器科／人工透析室

上福岡腎クリニック





住所：ふじみ野市霞ヶ丘1-2-27
ココネ上福岡クリニックモール2F
TEL：049-261-2300

●診療科目

人工透析専門施設

赤心堂総合健診クリニック





住所：川越市脇田本町21-1
TEL：049-243-5550

●健診専門施設

日本総合健診医学会優良総合健診施設認定／健康保険連合会指定病院・各共済組合・各健康保険組合指定

患者さんのために一緒に働く方を募集しております

赤心堂グループ　ホームページアドレス　https://www.sekishindo.or.jp

せきしん　2026年　発行　社会医療法人社団　尚篤会　六三四堂印刷株式会社